

快適な街並みづくりへの施策は

コロナ禍における活動自粛により、町のクリーンデーもここ2年間実施されていない。

そのため“きれいな町かいせい”とは程遠く、公園や道路等に雑草が生い茂っている。

町では「いつまでも住み続けたいと思えるまちづくり」を総合計画で、更には「人と水と緑が調和した活力ある快適都市“かいせい”」を都市計画マスタープランの基本的な目標としている。

しかし、現状を見ると目指す街づくりが整えられているとは思えません。

特に、南部地区では“水と緑のまち”をコンセプトに植栽豊かな緑道や公園を整備し、豊かさと潤いのある街づくりを目指すとされてるが、街並みや景観づくりが未完成のまま頓挫しているように感じる。

また町内の道路では半分消えかかった路面標示が数多く見受けられる。

町長は3期目の所信表明において、「南部を県西地域の副次拠点として魅力ある地域を目指す」とされているが、町全体の良好な景観や街並みづくりへの取組みについて伺う。

- 1 良好な都市景観を形成するための取組みと今後の具体的な事業は。
- 2 南部地区における景観の維持と保全にかかる課題は。
- 3 開成駅周辺のまちづくりパース（10月号広報誌掲載）は魅力ある駅前の姿に相応しいか。